



ゲーター祭り 元旦の末明に行われる八代神社の神事で、夜明け前にグミの木で太陽をかたどった直径2m程の白い輪（アワ）を島中の男たちが竹で刺し上げ、落とします。「天に二つの日輪なく、地に二皇あるときは世に災いを招く、若し日輪二つあるときは、神に誓って偽りの日輪は是の如く突き落とす」と、邪悪を払い、無事平穏な新しい年の日の出を迎える願いを込めた戦いの祭りです。【県指定文化財】写真提供：三重県観光連盟

目次・主な内容

■ 新年のご挨拶（奥田会長）	2	■ 会員発HOTニュース	15
■ 年頭所感（米倉日本経団連会長）	3	■ 委託事業 News	16
■ 年頭のご挨拶（柳瀬三重労働局長）	4	■ トピックス	19
■ 年頭のご挨拶（山口三重県生活・文化部部長）	5	■ 新年賀詞交換	20
■ トップインタビュー	6	■ 三重労働局 News	24
■ 三重経協ニュース	8	■ 事務局 News	25
■ リレー随想	13	■ れんらく・つうしん	25
■ 大学紹介	14	■ 業務日誌	26



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 奥田 卓 廣

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、すこやかに新年をお迎えのこととおよろこび申し上げます。旧年中は当協会の事業活動に、ご理解とご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。

さて昨年の我が国の経済は、家電エコポイントやエコカー減税・補助金などの政策的な後押しや、中国をはじめアジア諸国を中心とした新興国の力強い経済回復に依存していたところが大きく、緩やかながらプラス成長となり、2008年秋の世界同時不況の影響から脱出したかに見えました。しかし、デフレ経済の長期化、失業率の高止り、更には年後半からの急激な円の独歩高による自動車、家電を始めとする輸出産業への影響の深刻化など、厳しい経営環境となりました。加えて、各国の通貨安を望む為替政策や中国のレアアース輸出制限問題に代表される保護主義の台頭がみられました。これは我が国にとっては勿論、世界的にも重大な問題であり、G20において国際協調路線を基本とする話し合いが行われましたが、国際経済環境は波乱含みでありました。

このような不透明かつ厳しい経済環境が続く中で新年を迎えましたが、我国が今の事態を打開していくためには、政府が昨年9月に閣議決定した「新成長戦略」の早期かつ着実な実行が不可欠であると考えます。「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現を目指した「新成長戦略」は、企業の競争力の維持・強化に貢献するだけでなく、企業の活性化を通じ新たな雇用機会の創出、国内需要の顕在化、ひいては国民生活の基盤強化等、まさしく国を挙げた政策であり政治経済が一体となった積極的な展開が求められます。

次に県内に目を向けますとリーマンショック後、製造業を中心にアジア諸国向けへの輸出が持ち直していましたが、全国同様、昨年後半からの円高によりこの製造業に落ち込みの兆しがみられ、特に四日市港からの輸出は昨年11月、9ヶ月振りのマイナスとなりました。また雇用情勢につきましては、有効求人倍率は平成21年6・7月の0.40倍を底に改善傾向にあるものの昨年10月0.60倍と、今なお低い水準にとどまっています。特に新卒者を取り巻く雇用環境が一段と深刻さを増しており、11月末の高校の内定率82.8%（前年同月80.8%）、10月末の大学の内定率53.2%（前年同月51.7%）と、それぞれ昨年同期を上回っておりますが、依然低水準となっております。

このように今年も非常に厳しい年になろうかと思いますが、三重県経営者協会といたしましても、喫緊の課題でもある若年者（新規高卒・大卒）雇用を中心とした就職促進、団塊の世代を中心とした高齢者の活用（技術と技能伝承）と雇用の場の創出、ワークライフバランスの推進に取り組んでまいります。特に若年者の就職推進につきましては、平成21年に立ち上げました就職情報ウェブライン（会員企業の求人情報と県内大学・短大・高専の求職情報の提供：双方向の情報交換）に高校を含め、より一層充実させたシステムに改め若年者の雇用に結びつけてまいりたいと考えております。また昨年10月に発足した「女性懇話会」も2年目を迎え、メンバー同士の情報交換・経験交流を通じてメンバー間のネットワークを形成し自己の能力向上に役立てていただけるよう取り組んでまいります。さらに、「第18期労務管理改善協力委員会」（平成22年8月～24年7月）におきましては、人事・労務管理の情報交換のみならず、環境対策が不可欠となっております昨今、先進的な環境対策に取り組んでおります企業視察を中心に、今後の企業経営と環境対策についても合わせて取り組んでまいります。そして会員企業の皆様の企業経営に役立つ各種セミナー、時宜に合ったテーマの講演会、加えて弁護士・社労士による人事・労務無料相談会等々積極的に企画し会員の皆様のご期待に添えるように努力してまいりますので何卒ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



民主導による「日昇る国」の実現

－ 米倉会長新年メッセージ －

(社)日本経済団体連合会

会長 米倉 弘 昌

わが国経済は、いまだ本格的な自律回復にむけた展望が開けず、円高や長引くデフレ、厳しい雇用情勢など予断を許さない状況にあります。加えて、わが国は、人口の減少、急速な高齢化のもとで、国内市場の縮小、危機的な財政状況、社会保障負担の増大など構造的な課題を控えており、国民は閉塞感に覆われています。

イノベーションの推進と企業家精神の発揮

このような現下の閉塞感を打破し明るい未来を拓くため、まず我々経営者が、企業家精神を最大限に発揮し、技術開発の推進や新事業・新産業の育成に取り組み、経済成長の実現を通じて雇用の創出に全力を尽くす必要があります。

経団連は「サンライズ・レポート」で示したとおり、わが国の強みである「技術力」と「人材力」に一層の磨きをかけ「イノベーション立国」を目指します。具体的には、「未来都市モデルプロジェクト」等を実施し、都市を舞台に企業自らの発意に基づき先端技術を結集します。そして、さまざまな試行・実証実験を通じて得られたノウハウをパッケージとして、日本のみならず世界中の都市に展開し、新たな産業の創出や市場の拡大を目指します。

成長戦略の実現と断行

「強い経済、強い財政、強い社会保障」を実現するため、新成長戦略を早期に実行するとともに、一刻も早く、消費税率の引き上げを含めた税・財政・社会保障制度の一体改革を断行することによって、国民の将来不安を払拭する必要があります。こうした重要政策が、速やかに実行に移され、十分な成果を挙げるよう、経団連としても、最大限協力していきます。

平成の開国と力強い農業の実現

政界経済の成長センターとなっているアジア太平洋地域にわが国が位置することを絶好のチャンスと捉え、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加等を通じて、高いレベルの経済連携を積極的に推進し、平成の開国に挑みます。

特に、経済連携の推進と国内農業の振興を両立させるため、抜本的な構造改革に真正面から取り組む必要があります。いまこそ農業のあり方を見直し、力強い農業を育てていかなければなりません。このための政治のリーダーシップを強く望むとともに、経団連としても農業界の改革努力に最大限協力していきたいと考えています。

経団連は、世界の潮流を見据えつつ、国民各層とともに諸課題に果敢に取り組み、夢と希望のある「日昇る国」を実現し、将来世代に引き継いでいく決意であります。



年頭のご挨拶

三重労働局

局長 柳 瀬 倫 明

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から当局の行政運営に格別のご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用失業情勢については、最悪期の状況は脱し、昨年11月には有効求人倍率は0.60倍になっておりますが、未だ本格的な回復状況までには至っておりません。さらに最近の円高や海外経済の減速等による景気の下振れリスクが見られるようになっており、雇用情勢は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当局では昨年9月に政府が決定した「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」に基づき、「新卒者就職応援本部」を設置するなど、新卒者に対するきめ細かな就職支援を集中的に実施し、将来ある若者の就職の実現に全力で取り組んでおります。また、既卒者の就職の応援を促進するために、「新卒者就職実現プロジェクト」として、「3年以内既卒者トライアル雇用奨励金」等の各種助成制度を活用した支援を行っております。そのほかにも、雇用調整助成金等の受給要件緩和、介護等の成長分野における雇用創出、人材育成を推進するために、重点分野雇用創造事業の拡充及び緊急人材育成支援事業の延長等により、雇用の拡充及び職業訓練の充実を図っております。

一方、厳しい雇用情勢下において、依然として賃金不払い、解雇・雇止め等の相談が労働基準監督署に多く寄せられており、それらに対し、迅速・的確に対応するとともに、法定労働条件の確保を中心とした労働条件の確保等を推進することとしております。

また、最低賃金についてはセーフティネットとして適切に機能する必要があるため、最低賃金額の周知とその履行確保に努めることとしております。

一方、職場における安全衛生の確保と快適な職場環境の形成を目指して、第11次労働災害防止計画に基づき、リスクアセスメントの実施促進及びメンタルヘルス対策を重点的に行ってまいりました。しかしながら、昨年は死亡労働災害が多発しましたので、より一層災害防止のための施策に取り組むこととしております。

また、少子・高齢化が急速に進む我が国においては、働く人々が安心して仕事と育児・介護等を両立できる雇用環境の実現が求められており、昨年6月30日より改正施行されている育児・介護休業法の着実な施行を引き続き図ってまいります。また、国を挙げて取り組むべき喫緊の課題である次世代育成支援対策については、次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」策定等対象企業の範囲が、本年4月1日以降は101人以上規模に拡大されるところでありますので、あらゆる機会を通じて対象企業等に対し周知啓発を実施し、速やかな行動計画の策定、届出等を促すこととしております。

以上のように、本年も私どもが取り組むべき課題は山積みであり、これを着実に対処すべく、職員一丸となって全力投入してまいりますので、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

結びになりましたが、本年が輝かしい繁栄の年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年挨拶

三重県生活・文化部

部長 山口 和 夫

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から「人材こそが企業の発展の根源」という理念に基づき、活力ある地域経済社会の実現、企業の相互発展のために、三重県の「総合経済団体」として企業経営、人事労務の諸問題に関する情報の提供を行われるなど、三重県の労働行政をはじめ県政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2008年秋以降、世界的な経済危機により深刻な打撃を受けたわが国の雇用・経済情勢は、高い失業率や若年者の厳しい雇用状況とともに、円高やデフレの長期化、海外経済の減速などによる輸出の鈍化、企業の景気感の悪化など、景気を下押しするリスクを示す動きが続いています。

県内の雇用・経済情勢についても厳しい状況が続いており、有効求人倍率は平成21年6月及び7月の0.40倍を底に改善傾向にあるものの、今なお低い水準にとどまっております。

こうした情勢を踏まえ、県では、「緊急雇用・経済対策」を最重要課題の一つとして位置づけ、相互に密接に関係する「雇用」「経済」「生活」の3つの分野を柱に、総合的な対策に切れ目なく取り組んでいます。

また、官民一体となって効果的な雇用・経済対策を協議・検討するため「三重県雇用・経済危機対策会議」を設置し、貴協会会長をはじめとする経済団体、労働団体、金融機関、市町等の皆様からいただいたご意見も踏まえ、「緊急雇用・経済対策」として、雇用創出や職業訓練、中小企業の経営安定化・資金繰り支援、さらに高校生の就職活動支援や母子家庭の自立支援など、第一次から第十一次までの対策を関係機関と連携し実施してまいりました。

その取組の一つとして、昨年11月から12月にかけて三重労働局と連携し、県の幹部職員が県内外の約110社の企業を訪問し、本年春の新卒者の雇用確保等に関する要請を行わせていただきました。

さらに、国の「円高デフレ対応のための緊急総合経済対策（新成長戦略実現に向けたステップ2）」に係る補正予算等に基づき、公共事業を中心とした経済対策及び子育て、医療・介護・福祉等の生活対策等を柱とする、第十二次の緊急雇用・経済対策等に取り組むこととしております。

今後、平成23年度についても、国の経済対策等に対応し、実施にあたっては、関係機関と連携を深め、雇用経済情勢に応じた対策を的確に推進し、地域経済の元気回復と雇用確保に向けて、一層の取組を進めてまいります。

また、貴協会をはじめ労使で立ち上げた「三重労使雇用支援機構」等との連携により、地域の雇用情勢の改善、新規学卒者・若年者の就職促進及び企業人材のスキルアップ・職業訓練の促進等にも努めてまいりますので、県政の推進につきまして引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、三重県経営者協会がますますご発展されますとともに、会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

★トップ interview★



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。
第21回は経営者協会理事会社であります、桑名信用金庫 理
事長 中澤 康哉さんにお話を伺うことができました。

地域の皆さまとともに歩む

桑名信用金庫 理事長 なか ざわ こう や 中澤 康哉さん

～「くわしん」の愛称で三重県北勢地域を中心に事業展開され、創立85周年の歴史ある信用金庫ですが、会員の皆様をはじめ地元の中小企業や地域のお客様のために奮闘し、いろんな荒波を越えてここまでこれたかと思います。エピソードなどお聞かせ下さい。～

ごく簡単に「くわしん」の歩みをご紹介しますと、1925年（大正14年）7月に桑名市片町で有限責任信用組合桑名金庫として創業いたしまして、1936年（昭和11年）1月に桑名市京町に事務所を移転。1951年（昭和26年）10月に信用金庫法の制定により、桑名信用金庫が誕生しました。その後、1974年（昭和49年）に現在の大央町に本店を新築移転し、地域の皆様に支えられ着実に歩んできた結果、現在では26店舗（うち出張所2店舗）に事業も拡大し、2010年（平成22年）には85周年を迎えることができました。私で9代目の理事長になります。

創業当時もいろいろ苦労があったようですが、印象深いエピソードをご紹介しますと、1959年（昭和34年）9月に来襲した伊勢湾台風の被害は甚大だったと聞いています。この地域は地盤が低く、本店の金庫も浸かってしまうなど大変だったようです。重要書類やお札も浸水の被害を受けましたので、屋上でお札を天日干しをして乾かし、職員総動員で営業継続に苦労したと聞いています。当時私は幼稚園児でしたので、あまり記憶に残っていませんが、それでも被災地に向かうヘリコプターが頻繁に飛んでいたのをかすかに覚えています。また、昔の年末の恒例行事といえば、除夜の鐘を聞いてから地域の商店街を回って集金し、初日の出を拝む時間に帰宅するという、今では考えられないことですが、当時はそういったことも許される時代だったんですね。そういえば、そろばんが全盛期の頃は、利息の計算は金庫あげでの総力戦でした。電卓が導入されたときは有難かったですね。今はオンラインでそういった苦労もなくなりましたが、お客様へのサービスや利便性に伴う設備投資の面で違う苦労が生じてきています。（笑）最近では、リーマン・ショックに端を発した金融危機の影響で、当金庫も創業以来の厳しい決算を経験しました。しかし、翌年には地域の皆様や職員全員の努力の結果、金融危機の影響から脱却をすることができ、厳しい状況ながらほっと一息つけました。

～地域文化の活性化にも積極的に取り組んでおられますが、「財くわしん福祉文化協力基金」についてお聞かせ下さい。～

創業70周年を記念して、基本財産1億円（現在3億2百万円）をもとに、地域社会の福祉・文化の向上に寄与することを目的に「財くわしん福祉文化協力基金」を設立いたしました。この地区内の応募を中心に三重県下を対象として、毎年50件ぐらいの助成をしています。助成先を見てみますと、いろんな文化活動を行っている団体が分かり、おもしろいですね。例えば、地域の子どもフェスタ、くわな市民コーラス演奏会、少年野球教室、盆栽展示会など多彩です。また、心身障がい児（者）への福祉活動にも助成を行っていま



本店

すが、皆さんからの感謝の声を聞きますと本当にうれしいですね。できるかぎり継続していきたいと思っています。

～職員の人材育成にも注力されていますが、支援体制などお聞かせ下さい。～

当金庫の現在の職員構成のことに触れますと、昭和50年代に営業店の数が大きく増加したため、この時に多くの職員を採用しました。その人達の世代交代もあり、近年採用枠を増やし、若い人材が増加する傾向にあります。そういった若手職員の人材育成のため、当金庫の教育体制は、研修、OJT及び自己啓発の3段階に分けて、知識の習得や資格の取得、職能の習熟度を年次毎に段階的に目標を明示した「キャリア形成モデル」を導入しています。もちろん階層や職務年齢別に支援体制も整えてスキルアップを促進しています。現在、年間35回程度の研修を開催していますが、私自身もう少し研修を増やしてもいいのかなと思っています。研修後のフォローとしては、各個人のカルテを作成して、成長過程や習熟度の管理もしています。また、将来の当金庫を担う若い人材については、OJTによる実践能力の開発に注力しています。特に営業の仕事については、先輩諸氏からの助言やノウハウを実践で学び取ってほしいし、例えば、営業で道を歩いていて、「ここに家が建つのか」、「この土地、整地してきたなあ」と漫然と思うのではなく、「お客様のプラスになることができないか」とか、「融資係として提案できることがないか」など、営業的な感性や地域の細かな情報を掴んでいってほしいと願っています。人が育つには時間がかかりますが、私は営業店の人達の生の声を聞くのと、私の考えを直接伝えるために、職員と接する時間をつくるように努めています。



桑名駅前支店

～来る90周年に向けてのビジョンについてお聞かせ下さい。～

おかげさまで、今期預金が4千億円、融資が2千2百億円を超えましたので、これをスタートの年として、来るべき90、100周年に向けての体制づくりを図りたいと考えています。今よりもっと強固な経営基盤、収益基盤及び人材基盤に着実にステップアップさせ、厳しい環境下に耐えられる礎を築いて行きたいと思っています。地域の中小企業の発展に寄与し、地域社会の皆様が必要とされ期待される“くわしん”で在りつづけるように、地道に、また着実に前進してゆきたいと考えています。

～最後に、多忙な毎日で休みも取りにくいと思いますが、休日の過ごし方、趣味などをお聞かせ下さい。～

最近は忙しくて自分の時間が持てないのですが、休日はウォーキングに温泉巡りですね。お酒が好きなのと車の運転が好きじゃないので、電車でのんびり一人旅がいいですね。地元を離れ、知らない町を散策して温泉に浸かっていると時間を忘れ、癒しの一時を感じます。ゴルフや釣りもやりますが、気分転換にはぶらり旅が一番ですね。

◆中澤理事長略歴

昭和29年3月17日生

学歴

- 昭和52年3月 日本大学 卒業

職歴

- 昭和52年4月 桑名信用金庫 入庫
- 平成9年1月 同庫 蟹江支店長
- 平成12年1月 同庫 城南支店長
- 平成13年1月 同庫 営業推進部課長

- 平成15年6月 同庫 本店営業部部長
- 平成16年6月 同庫 常勤理事就任
(本店営業部部長兼務)
- 平成18年3月 同庫 同 (営業推進部担当理事)
- 平成18年6月 同庫 同 (審査部長・企業経営サポート室室長 兼務)
- 平成18年6月 同庫 常務理事就任
- 平成20年6月 同庫 理事長就任

“女性懇話会” 活動スタート!!

～ 参加者でネットワークをつくり女性の輪を広げよう ～

女性パワーの多彩な活動展開により女性管理職、役員の活躍を一層高め、会員企業と協会の活性化を図るため、平成22年10月三重県経営者協会内に設置されました。様々な業種の管理職、役員の方々が登録されております。

■ 目 的

会員共通の問題に関する情報・経験の交流、調査研究、そして相談や意見の交換により自己のネットワークを形成し、また、講義や見学を通じ能力の向上、業務の推進を行う。

■ 事業内容

- ①総務、人事、労務、企画、営業の実務に役立つ研修（セミナー、講演会、講話）
- ②企業視察や交流会の実施
- ③ワーク・ライフ・バランス、ポジティブ・アクションの研修
- ④歴史文化、教養講座の開催
- ⑤経協対外活動の支援

※毎回職場の身近な労働問題や個別労働問題に対する相談を専門スタッフが行います。

■ 第1回例会

10月19日(火)三重県立美術館第2会議室において、第1回の女性懇話会を開催しました。当日は8名の参加があり、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めました。最後に館内の常設展を鑑賞して閉会しました。

◎プログラム

- ①メンバー自己紹介
- ②講 話 「DO！ポジティブ・アクション」について
三重労働局雇用均等室 室長 鈴木 里美 氏
- ③講 話 「総合的な犯罪被害者支援施策の推進」
三重県警察本部警務部広聴広報課 警部 増田 正人 氏
- ④講 話 「みえ犯罪被害者総合支援センターの活動と支援状況」
みえ犯罪被害者総合支援センター 落合 千佳 氏
- ⑤会員交流会（館内 喫茶ミュゼボンヴィヴァン）



懇話会風景



喫茶で寛ぐ交流会

■ 第2回例会

11月19日(金)労務管理改善協力委員会共通部会と共同開催で、伊賀市で行われました。(P.10参照)

※女性懇話会へのご入会希望の方は、事務局岡田までご連絡下さい。(059-228-3557)
随時受付けております。

メンバー紹介



伊藤印刷(株)
代表取締役専務
伊藤 恵子

女性懇話会が設立されおめでとうございます。会員の一人として異業種の女性の方々と交流できる事、楽しみにしております。



井村屋
グループ(株)
総務部課長
宮路 元美

メンバーの方々の考え方や各社の事例を参考に多くの事を吸収し、レベルアップを図りながら企業間のつながりも深めたいと思っております。



(有)エム・
アール・シー
取締役
井ノ口美津子

皆様のお役に立てる仕事をしていきたいと思って頑張っております。また、出会いを大切にしたいと思います。宜しくお願い致します。



(株)オオコーチ
専務取締役
前田 朝子

女性懇話会のメンバーの一員になりました事、喜びと誇りに思っております。異業種の方々との交流、色々と学ばせて頂きます。



(株)菊川鉄工所
総務課長
楠木真由美

興味のアンテナを張って皆様との情報交換をさせて頂き、仕事に生かせる知識を深めながら人脈も広がることを楽しみにしております。



キャリア
フェイス
代 表
山口 友美

飲み会では女性扱いされない今日この頃ですが、素敵な皆さまと一緒にいろいろ学んでいきたいです。



(株)ぎゅーとら
人事部教育課長
荒木 由佳

女性懇話会を通じていろんな方々と知り合いになれることを楽しみにしています。よろしくお願いします。



三交旅行(株)
総務課主任
山下 真理

社員が高い意欲を持ち、その能力を十分に発揮できる職場づくりに向けて、女性懇話会でたくさんのことを学んでいきたいです。



三八運輸(株)
専務取締役
森 一子

女性懇話会のメンバーに入会させていただき心機一転、新たな人々との交流によって自分磨き、会社磨きができる事に期待しています。



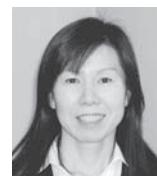
鈴鹿国際大学
総務課長
坂田 泉

様々な業種・職種でご活躍されている方々と女性懇話会を通じて情報交換及び交流を深めたいと思っております。



(財)21世紀
職業財団
三重事務所
山田志の生

メンバーの皆様と交流を深めながら、様々なことを勉強させていただきたく思っております。



松阪興産(株)
管理課長
松本比登美

女性懇話会を通じて、メンバーの溢れるパワーをいただきながら、多くのことを吸収していきたいと思っています。



(株)松阪鉄工所
総務課長
佐藤 法子

同じ立場の先輩や同年代の方から貴重なお話を聞く事ができ、嬉しく思っています。今後ともよろしくお願い致します。



(株)安永
人事グループ
北出 節子

女性懇話会の会員とならせていただき多くの方との交流を楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。



(株)山口商会
専務取締役
山口 滋子

女性懇話会のお仲間にして頂き嬉しく思います。いろいろ刺激を受けながら吸収していけたらと思いますので宜しくお願いします。



三重経協活動報告

労務管理改善協力委員会

11月第1部会活動報告

11月5日(金)中勢ゴム本社工場において、労務管理改善協力委員会第1部会を開催いたしました。

吉田部会長（昭和四日市石油株）の挨拶に続いて、管理部長中上 雅嗣氏より会社の概要について事前説明を伺った後、工場に移動し、自動車用ゴム・樹脂部品の製造工程を見学しました。工場見学終了後、基調講演として、「強い組織、活気ある職場の作り方」をテーマに、(株)百五経済研究所経営コンサルティング部部长兼主席研究員 大地 勉氏より講演が行なわれました。



労管部会風景

「今、職場で何が起きているのか?」、「なぜ、社員・部下が育たないのか?」など具体的な事例やチェックシートを使って分かりやすく解説されました。講演の後、活発な質疑応答がおこなわれ有意義な部会になりました。

当日は、21名の参加がありました。

共通部会活動報告

11月19日(金)安永ゆめぼりす工場において、女性懇話会と共同で労務管理改善協力委員会共通部会を16名の参加者の中、右記のプログラムで開催しました。人事グループ長の山本 正仁氏の会社概要の説明の後、自動車エンジン部品等の製造工程を見学しました。その後、昼食交流会に移り、会員相互の交流を深めました。また、今回の実務セミナーは、会場をゆめぼりすセンターに移動し、(財)21世紀職業財団主催の「ワーク・ライフ・バランスセミナー」に参加しました。

◆プログラム

1. 工場視察会…(株)安永ゆめぼりす工場



2. 昼食交流会…(株)安永会議室



3. ワーク・ライフ・バランスセミナー

○人材定着・業績向上を実現する

ワーク・ライフ・バランス

講師：高田短期大学准教授

杉浦 礼子 氏

○仕事と生活の両立できる企業へ

講師：三重労働局雇用均等室長

鈴木 里美 氏



杉浦准教授（高田短期大学）

緊急 円高対策セミナー及び個別融資・貸付説明相談会開催

12月7日(火)プラザ洞津「明日香」で円高対策セミナー及び個別融資・貸付説明相談会が開催されました。

第1部の円高セミナーは、講師として(株)百五銀行国際営業部ビジネス支援課長小菅 浩氏と同課長代理田村 守氏の両氏から講習を拝聴いたしました。



円高セミナー会場風景

円高の影響

ある意識調査によると円高の影響として「業績が悪化する」と回答した企業は全体の4割、業種別では特に製造業、企業規模では大企業・中小企業問わず広範囲であるという回答を得ました。円高の影響による具体的な内容は、自社製品・サービスの価格競争力の低下、為替差損の発生を上げています。また、取引先が輸出をしている場合の影響として、取引先からの価格引き下げの要請(圧力)や取引先の海外シフトによる受注減少が発生しています。



小菅課長 (株)百五銀行



田村課長代理 (株)百五銀行

円高対策への方策

円高対策として、海外事業の規模(設備投資・人員など)の拡大や稼働率の引き上げ、輸出仕向地・輸入調達地の変更や多角化として、現地での部品調達率の向上や現地への販売の拡大、海外委託生産の拡大などの対策が考えられます。また、為替予約の枠・期間の拡大も有効な対策になります。

中小企業の現況

中小企業の海外事業展開の現況ですが、当行へ昨年より海外への販路拡大や進出についての照会が急増しています。国別には、中国、タイ、ベトナムが中心です。海外事業展開の目的としては、①市場を開拓したい、②生産コストを削減したい(安価な労働力を利用した現地生産)、③取引先(大口先・親会社)の要請の3点が主な内容です。ただ、自社の製品はどれだけ現地で受け入れられ、需要があるのか(制度面・価格面)、現地のインフラの整備状況や近年現地では賃金が上昇傾向にあるので採算がとれるかなどの問題点や、取引先の継続的な取引が確約されるのかなど不安要素もあります。

為替リスクの回避

為替リスクの回避方法としては、円建契約や為替マリー(輸出企業の例でいえば、仕入先への外貨払、円建借入からの外貨建借入への変更)、リーズ・アンド・ラグズ(為替相場の見通しにより決済時期を早めたり、遅らせたりするもの)などが考えられます。また、先物為替予約も一案です。

第2部は、三重県信用保証協会総務部企画調整課長西垣内 清文氏より、年末・年度末の資金繰り対策や三重県中小企業融資制度(円高対応緊急資金等)などの融資・貸付の利用方法の説明について伺い、その後個別相談会へと移りました。



西垣内課長 (三重県信用保証協会)

当日は24名の参加者があり、その内の2社が個別相談に参加しました。

年末調整実務セミナー開催

11月19日(金)ベルセ島崎「浜木綿の間」において、「年末調整実務セミナー」を開催しました。

当日は21名の参加があり、講師の今村 富久翁税理士からセミナーを3部形式に分けて講習がおこなわれました。第1部として、年末調整のプロセスを実際に使用する様式をもとに演習をおこない、随時参加者からの疑問点に回答して、進め方、実務上の注意点、平成22年度の改正点等を指導していました。続いて、第2部は「年末調整のよくある実務上の疑問点」をQ & A形式で書かれたテキストをもとに解説されました。参加者の質問にも丁寧に分かりやすく応答され、最後に個別相談会で閉会しました。また、今村講師から参加者に、セミナー後も年末調整

の疑問に気軽に相談ができるように、電話・FAX番号及びメールアドレスを伝えていました。



年末調整実務セミナー風景

第12回会員親睦コンペ開催

11月2日(火)三重カンツリークラブにおいて、第12回三重経協会員親睦コンペが開催されました。当日は天候にも恵まれ、上々のゴルフ日和でした。24名（IN・OUT各3組）の会員が参加された熱戦の結果、優勝者は北村 幸一氏（鳥羽シーサイドホテル(株)）に決しました。奥田会長より優勝トロフィ

ー並びに優勝賞品のゴルフバック（三重交通(株)提供）が授与されました。



【順位表】

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優勝	北村 幸一	鳥羽シーサイドホテル(株) 取締役統括支配人	83	13.2	69.8
準優勝	和田山 久司	(株)ミエスレート 代表取締役	83	12.0	71.0
第3位	今村 元宣	今村会計事務所 所長	93	20.4	72.6
第4位	佐々木 史郎	三重県商工会連合会 専務理事	86	13.2	72.8
第5位	古市 正典	(株)三交ドライビングスクール 取締役社長室部長	86	13.2	72.8

※同スコアの場合、年長者を上位とする。



優勝トロフィーを持つ北村支配人



親睦パーティー風景

思えば勤続36年



株式会社松阪鉄工所 総務部長 奥田浩司氏

私が会社へ入社したのは、20歳で大学を中退し、地元へ帰りそのまま、今の会社へ入りました。昭和49年の3月です。今でもはっきり覚えています、初任給は77,000円でありました。現在の高卒初任給の半分以下です。入社後、即その年度の賃上げがあり、ベースアップと定期昇給で30,000円を超えていました。今の時代、いやこれからも考えられないぐらいの額でした。すごい会社に入ったなという感じでしたが、すぐに第一次オイルショックに見舞われ、木曜日、金曜日、週によっては土曜日も自宅待機となりました。当時入社したばかりで、賃金のカット額もあまり影響もなく、自宅待機を楽しんでいたような気がします。思えばその間何をしていたのか、思い出せません。私より1年後輩の新入社員は採用後、即、数ヶ月の自宅待機を命じられたわけですから、すごく不安であっただろうと察します。

入社に関しては、以上のような記憶があります。

入社後の配属は総務部経理課でありました。体育会系の自分には大変地味な、暗い職場というのが、第一印象です。まあ文句を言わず、俗に言うコソコソと、当時は与えられた仕事を処理するだけで、日々が過ぎました。会社に入って2年目の冬に、経理課の先輩の義理の妹さんと知り合うこととなり、給料が手取りで100,000円を超えたら結婚しようということになり、24歳の春に結婚しました。入社4年間でここまで給料が上がったということです。

しかし、体育会系の私には、やはり経理課の地味

な仕事には限界というより「飽き」が来て、当時専務（現社長）に人事異動をお願いしました。タイミング的にも会社組織の見直しと重なり、異動がかなえられました。異動先は資材課（現調達課）でありました。事務屋の私にとっては、工学系の知識がなければ難しい職場への異動で、これは大変でした。何とか先輩方のおかげで、職務をこなしていく日々が続きました。この課で得た知識（浅く広くですが）がすごく役に立っています。材質、熱処理、加工方法等それなりに知識があるので、今、現場へ向かって物が言えていると思っています。また、この時期に36歳から労働組合の役員も経験し、執行委員長を4年間務め退任しました。労働組合での一番の思い出といえば、当時、津市の市議員に立候補してみえた、某電力会社方の応援弁士として会社の地元の高茶屋地区の立会演説会で話をさせていただいたことです。今も県議員としてがんばっていただいていますので、大変うれしく思っています。

執行委員長を退任し、数ヵ月後に異動となり現在の総務へ来ました。いままでの総務の経験で一番記憶に残っているのが、名古屋地方裁判所で3時間に渡る証人喚問を受けたことです。この裁判は私が会社へ入社する前のことがらが殆どでありましたが、控訴された時期に総務のマネージャであった私が、証人喚問を受けることになりました。まだしばらく私の人生は続くだろうと思いますが、多分、これが人生最大の緊張であったと思います。

この会社でいろいろな経験をし、知識も深め、人脈を築きました。後、数年で退職になろうと思っていますが、人生の大半をすごさせていただいた、会社へ感謝です。

会社での40年間の経験は私の宝になると思います。

※掲載の写真は、1年に一度、私が一番輝いている松阪祇園まつりの三社みこしでの我がチーム「清晴組」の集合写真からです。

Vol.5 鈴鹿医療科学大学

日本で最初に設立された4年制の医療技術系大学

鈴鹿医療科学大学は、「科学技術の進歩を、真に人類の福祉と健康の向上に役立たせる」という建学の精神の下、日本で最初の4年制医療技術系大学として開学しました。平成3年に2学部4学科でスタートし、その後、大学院の開設や学部・学科の増設を行い、現在4学部8学科の医療・福祉系総合大学に至っています。また平成23年4月には、チーム医療で活躍できる「栄養の知識を兼ね備えた臨床検査技師」養成を目指し、保健衛生学部医療栄養学科に臨床検査コースを開設します。

開学以来常に、医療従事者を養成する全国の医療・福祉系大学のリーダーとして社会に貢献しており、医療の高度化・複雑化が顕著な近年、チーム医療を担う「知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉のスペシャリスト」を育成しています。



人材育成の特色

近年、医療の高度化・複雑化に伴い、各医療専門職がそれぞれの専門知識・技術を活かし、協力しながら患者の治療にあたる「チーム医療」が重要視される傾向になり、医師以外の医療従事者（コ・メディカル）を養成するニーズが社会的に高まっています。本学では、コ・メディカルの国家資格をはじめとした様々な資格の取得と豊かな人間性を養うために、経験豊富な教員とカリキュラムを編成し、その社会的要請に応えています。

具体的には、①1クラス40人程度の少人数教育、②実践的な授業、③最新の医療機器等を使った現場で通用する技術を養う実習、などを行っています。さらに、学生が主体的に学習し問題を解決する能力を身につけるPBL（Problem Based Learning；問題解決型授業）や、高いコミュニケーション能力を養うために低年次から病院や企業を訪れる早期体験実習なども行っています。

また、医療・福祉の総合大学のメリットを活かし、他学科の講義内容を取り入れ、学部・学科横断的な教育を行っています。そうすることにより、専門知識だけでなくコ・メディカルについて幅広い知識を習得し、チーム医療の一員として即戦力で活躍できる人材を育成しています。

本学で養成している主な専門職

（国家資格）

診療放射線技師、栄養士・管理栄養士、理学療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、臨床工学技士、はり師・きゅう師、薬剤師、*臨床検査技師（平成23年4月より）

（民間資格）

診療情報管理士、医療情報技師

高度専門職医療人の養成（大学院教育）

本学大学院では、医療科学研究科 医療科学専攻修士課程・博士課程を開設しています。

学部教育を経て関連分野の資格を得た方や社会に出て一定の専門職経験を持つ方を対象として、さらに高度な専門知識と技能の教育を行い、医療科学の高度専門職医療人の養成を目指しています。

社会人、特に診療放射線技師の方を対象として、東京サテライトキャンパスを開講しており、勤務をしながら修士課程を修了できるようカリキュラムを編成しています。

医療・福祉を通じて社会へ貢献

開学以来18年間で卒業生は5,000人を超え、卒業生たちは「知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉のスペシャリスト」として、日本全国の病院・医療機関・福祉施設・企業などで活躍しています。また全就職者のうち、三重県内の医療機関や福祉施設・企業への就職者が比較的多数を占め、三重県全域の医療・福祉分野において地域社会に貢献しています。

他にも、学生ボランティア活動の推進、市民公開講座の開催、みえメディカルバレープロジェクト、みえアカデミックセミナー、SUZUKA産学官交流会への委員講師派遣などにより、健康と福祉に関する研究活動・成果を地域社会に還元しています。

お問い合わせ 鈴鹿医療科学大学

〒510-0293 鈴鹿市岸岡町1001番地1

Phone 059-383-8991(代) Fax 059-383-9666

HP : <http://www.suzuka-u.ac.jp/>

会員発HOTニュース

会員企業の最新HOTニュース（企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等）をお届けいたします。

■事業案内（株式会社タカキタ）



食料自給率向上の
キーテクノロジー

先端アタッチの交換により、
多様な飼料作物に対応

汎用型飼料収穫機
SMR1000



株式会社タカキタは明治45年に名張の地に創業して以来、一貫して「土に親しみ、土に生きる」をモットーに農業の近代化に取り組んできました。

現在、国内の食料自給率向上が大きく叫ばれている中、当社では自給率向上に寄与する粗飼料の収穫・梱包・給餌等の畜産酪農作業機や、土づくり関連作業機などを生産販売しています。



東証・名証市場第二部上場
株式会社 **タカキタ**

本社 / 工場 〒518-0441 三重県名張市夏見 2828 番地
TEL 0595-63-3111 www.takakita-net.co.jp

■新学科スタート（高田短期大学）



私の「夢」の、
スタートライン。

学校法人 高田学苑

高田短期大学

子ども学科 人間介護福祉学科 オフィス情報学科

〒514-0115 三重県津市一身田豊野195
TEL.059-232-2310 FAX.059-232-6317
URL <http://www.takada-jc.ac.jp/>
E-mail nyushi@takada-jc.ac.jp

date _____

高短トピックス

平成23年4月、オフィス情報学科は
オフィス人材育成学科
に学科名を変更し、新たにスタートします。

新学科の特徴

- 1.全国で初めて学科名に「人材育成」を冠したこと**
地元企業のニーズに合った人材育成を目指し、地元オフィスで活躍する人材を輩出します。
- 2.キャリアサポートの強化**
学生一人ひとりのキャリアサポートをさらに強化し、豊富な人生を実現させる支援体制を提供します。
- 3.情報・簿記・オフィスワークなどの実施的なビジネス実務指導**
地元のオフィスで活躍するための、実施的なビジネス実務の専門知識技術を指導するとともに、資格検定合格を支援します。
- 4.キャリア教育の充実**
社会体験学習、キャリアデザイン、ビジネス実務などの一人ひとりのキャリア形成とチームで働くための能力向上を目指した科目を充実させます。

■FSCマーク取得（株式会社アイブレン）

イメージ クリエイト

想像を創造する

IBオリジナル商品もご利用下さい。

ワード感覚の簡単操作!
らくらく更新KIT

専用ソフトを使わず、ブラウザ上でホームページ更新ができるシステムです。

イラストでアピール!
似顔絵

社員さんの似顔絵を作成します。名刺・ホームページなど、さまざまな商品に使えます。

回して楽しい不思議な箱!
からくりクン

箱の絵が次々に変わる楽しい仕掛け箱。販促ツールや商品PRにご利用いただけます。

2010年11月、弊社はFSC™/CoC 認証を取得しました。

FSC(Forest Stewardship Council™ 森林管理協議会)とは「森林認証制度」を運営する非営利、非政府の国際組織であり、1993年に環境保護団体、先住民団体等の代表者らにより設立されました。弊社はその認証機関の一つである SGS ジャパン(株)の審査を受け認証を取得しました。この認証取得により、環境保護に配慮した印刷資材を使用していることをFSCマークの印刷物への掲載で証明することが出来るようになりました。



FSC
www.fsc.org
FSC® C102819

責任ある森林管理のマーク



株式会社 アイブレン

本 社 〒516-0017 三重県伊勢市神久3丁目5番67号 TEL 0596-27-1111(代) FAX 0596-23-0125
津営業所 〒514-0041 三重県津市八町1-9-16-1008 TEL 059-225-3885 FAX 059-225-3878
[URL] <http://IBRAIN.mie-net.ne.jp> [Email] IBRAIN@mie-net.ne.jp

※ご応募はメール(hotnews@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

15

みえ経協 平成23年1月号

インターンシップ事後研修会開催

11月13日(土)津都ホテル「伊勢の間」でインターンシップ事後研修会が開催されました。

当日はインターンシップを体験した学生を中心に、42名の参加がありました。最初に、「インターンシップを通じて学生に望むこと及び就職活動の留意点」をテーマに、ネットトヨタ三重(株)管理部総務グループ係長 三木 正、パナソニック電工(株)津工場人事部長 小出 孝 の両氏より講演がおこなわれました。講演中、学生たちの真剣なまなざしで講演を聴き、メモを取る姿が印象的でした。続いて「インターンシップ経験を就職に活かす～自分の強みを伸ばし、納得内定へ～」と題して、(有)トーカイマネジ

メントアソシエイツインストラクター吉井 優貴氏から、就職支援のプロの立場から様々なアドバイスをいただきました。その後のグループディスカッションでは、A～Gに分かれた7テーブルをグループ(1テーブル6～7名)としてグループディスカッションをおこないました。最初にグループ内で自己紹介をおこない、続いて「企業が求める人材とは」をテーマに、活発な討論がはじまりました。その後、グループの代表が討議結果をまとめた内容を発表し、吉井氏から総評が述べられ、学生たちの熱い熱気の中、インターンシップ事後研修会が閉会しました。



三木係長 (ネットトヨタ三重(株))



小出部長 (パナソニック電工(株))



会場風景

平成22年度

インターンシップの受入 事業所を募集しています

インターンシップは、学生が在学中に企業などで一定期間就業体験を行う教育制度です。地域の産業界の皆様のご協力があったはじめて実現できる制度ですので、積極的な参加をお願いいたします。

インターンシップ受入登録事業所を募集しております。未登録の会員事業所、またご紹介いただける事業所の方は、事務局 西場 (にしば) までご連絡をお願いいたします。

三重県下で約550事業所が現在登録されています。

*参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に参加した上で実習に参加します。
(事業所側のご負担はありません)

受入事業所にとってのメリット

企業のPR効果

優秀な人材の発掘

職場の活性化

受入による
職業観・就労意識の形成・向上

三重県インターンシップ受入企業開拓業務

70歳まで働ける企業創出事業セミナー

「70歳まで働ける企業創出事業」の一環として、「70歳まで働ける企業」の実現に向けた制度導入等に関する高年齢者雇用推進セミナーを10月29日(金)プラザ洞津、11月26日(金)四日市市文化会館の両日において開催いたしました。

基調講演として「70歳雇用の実現に向けて」をテーマに、高田短期大学オフィス情報学科教授高木直人氏より講演を拝聴し、トライアル企業の取り組みについて、10月29日は鳥羽シーサイドホテル(株)

管理部長井上 穂石、(株)タカキタ取締役総務部長 沖 篤義の両氏より、11月26日は(株)三交タクシー 総務部長早川 正素、(株)アイブレーション管理課長 藤田 哲生の両氏より講演をいただきました。最後に、就業規則・労使協定の定め方について、特定社会保険労務士田中 克己氏より実務的な講習を伺いました。両日とも20数名の参加者があり、好評のうちに閉会いたしました。



津会場風景



四日市会場風景

厚生労働省委託事業

「70歳まで働ける企業」創出事業セミナー開催

～70歳雇用の実現に向けて～

無料

参加者
募集



日時 平成23年2月7日(月) 13:30～16:30

場所 プラザ洞津 明日香

内容 高年齢雇用安定法及び雇用確保措置、就業規則・労使協定の定め方について

講師 特定社会保険労務士 田中 克己 氏

* 当セミナーは、労務管理改善協力委員会との合同で開催致しますので、労管メンバー以外でも参加できます。(P.25参照)

お問い合わせ先：三重県経営者協会「70歳まで働ける企業」創出事業

担当：横田 正典・辻 みどり

電話：059-228-3557 F A X：059-228-3710

「一般事業主行動計画」を 三重労働局に届出しましたか？

常時雇用する従業員数が101人～300人の事業主様。

平成23年4月1日からは、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定・届出・公表・従業員への周知が義務となります。未届の事業主の皆さまは、余裕を持って策定、届出をお願いいたします。

◆ 「一般事業主行動計画」策定指導説明会（三重労働局主催）

下記の日程で開催されますので、一般事業主行動計画をこれから策定される事業主、既に策定しているが策定方法を今一度確認したい事業主など、どうぞご参加ください。

開催日：平成23年1月20日(木) 14：00～16：00

開催場所：四日市商工会議所 1階ホール

お問合せ：三重労働局雇用均等室（電話：059-226-2318 FAX：059-228-2785）

三重県経営者協会 一般事業主行動計画策定等支援事業

コンサルタント：沢 勝弘・小林 篤郎 担当：中村宏行

ホームページ：<http://miekeikyo.jp/ippan.html>

電話：059-223-0222 FAX：059-223-0224

〒514-0033 三重県津市丸之内9番18号 津丸の内ビル3階

三重県委託事業

中高年齢者雇用支援事業

"働く意欲"・"経験"・"安心感"のある中高年齢者の再就職支援を行っております!!

本年3月末に終了した厚生労働省委託事業「地域団塊世代雇用支援事業」に引き続き、8月に三重県委託事業として新たに開始致しました「中高年齢者雇用支援事業」へのご登録者はさらに増え、雇用情勢が悪化する中、当事業に対する雇用支援の需要はますます高まっております。

求職者の方が一日でも早く再就職できるよう、コーディネーターが三重県内の企業様を訪問し、求人のご依頼をさせていただいております。

少子化に伴い、豊富なキャリアを持つ人材が不足する中、中高年齢者のさらなる活躍が求められていると思われます。

当事業にご理解頂き、中高年齢者の雇用をお考えの企業様は、ご一報いただけると幸いです。

三重労使雇用支援機構 中高年齢者雇用支援事業

〒514-0033 津市丸之内9-18 津丸の内ビル3階（三重県経営者協会内）

電話・FAX：059-223-7771

中高年齢者再就職のための再就職支援セミナー&新分野チャレンジ交流会 開催

10月21日(木)四日市農協会館、11月22日(月)ハートプラザ
みその2地域で三重労使雇用支援機構中高年齢者雇用支
援事業主催の標記セミナーが開催されました。再就職支
援セミナーでは、講師にNPO法人社会教育ネットの伊
藤 烈次氏から講演をいただきました。新分野チャレン
ジ交流会の10月は「オーナーとしてのコンビニ・働く場
としてのコンビニ」をテーマに、築地 伸和(株)セブン
ーイレブン・ジャパン第3リクルート部東海地区オーナ
ー募集担当)。11月は「中高年齢者が活躍する業界」を
テーマに、坂野 和哉(株)三交タクシー南部事業本部
長)の両氏より元気で働く中高年齢者の活躍が語られま
した。



四日市会場風景

戦略的営業P D C Aセミナー 開催

11月11日(木)プラザ洞津において、TMA(トカイマ
ネジメントアソシエイツ)主催、当協会後援の「戦略的
営業P D C Aセミナー」が開催されました。

当協会員対象に開催されたセミナーは12名の参加があ
り、講師の石田 敬二氏(コンサルタント)より、営
業の現状や問題点をあげ、改善方法や営業支援システム
(戦略的I T)「BUSINESS SPIRIT」の活用について講
習が行われました。

TMA トカイ マネジメント
アソシエイツ

HP:<http://www.tma-consulting.com> E-mail:info@tma-consulting.com
TEL:052-932-9477 FAX:052-932-9488



セミナー会場風景

婚活フォーラム「良縁親の会」三重 開催

11月11日(木)プラザ洞津において、良縁親の会と当協会
共催の婚活フォーラム「良縁親の会」三重が開催されま
した。良縁親の会は、結婚のお相手が見つからないお子
様に代わって、親がお相手を探す交流会です。

当日は、新たな出会いを求めて20組の親御様が集い、
良縁づくりに真剣に取り組んでいました。

PMIA 良縁親の会 <http://www.pmia.jp>

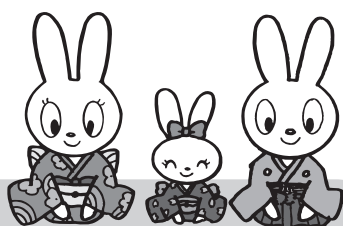
〒600-8492 京都市下京区四条烏丸西入月鉾町39-1
四條烏丸大西ビル10F
TEL:075-213-0506 FAX:075-213-0566



「良縁親の会」会場風景

あけまして
おめでとら
ございます

2011



三重県経営者協会

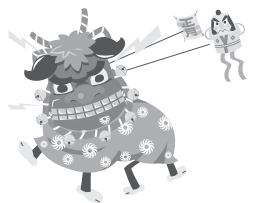
会 長	奥 田 卓 廣
副 会 長	菊 川 靖 之
副 会 長	小 林 長 久
副 会 長	高 崎 征 輝
副 会 長	黒 川 正 機
副 会 長	澤 田 隆 司
副 会 長	佐 藤 浩 典
専 務 理 事	横 田 正 弘
事 務 局 長	西 場 康 弘

(50音順)

フィッシング遊・アサヒ   アサヒレジャー株式会社 代表取締役社長 上 野 精 一	人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役社長 小 林 眞一郎
アミカン株式会社 東洋工業株式会社 代表取締役社長 伊 藤 勘 作	Canon 上野キヤノンマテリアル株式会社 代表取締役社長 浅 岡 信 行
ISO27001 認証取得工場 印刷のプロフェッショナル 株式会社 伊 勢 出 版 代表取締役 玉 井 信 吾	CS (顧客満足) の向上と人材育成 有限会社 エル・アル・シー 代表取締役 足 坂 三 長 取 締 役 井ノ口 美津子
ISO27001 情報管理国際認証取得  総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊 藤 孝 行	有限会社 オーピーエス 岡島パソコンスクール 代表取締役 岡 島 久美子
今村会計事務所 所長・税理士 今 村 元 宣	製造・物流のアウトソーシングは  オーユーセス株式会社 代表取締役社長 大市 元

冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限会社 奥田冷機 代表取締役 奥田幸広	超硬及びハイス工具研削専用機(設計・製作) —当社は専用工作機械及び金型部品のメーカーです— 株式会社 小林機械製作所
 株式会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 松田好旦	三交興業株式会社 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン 取締役社長 森川正治
株式会社 菊川鉄工所 代表取締役会長 菊川靖之	株式会社 三交タクシー 取締役社長 宮田 準
 ふれあい・たいせつに きゅーとら 代表取締役 清水秀隆	 株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 北川幸彦
 農業屋 クラギ株式会社 代表取締役社長 竹内秀樹	三交不動産株式会社 取締役社長 長嶋賢次
昼も夜も、まごころガード24時 株式会社 ケージエス 代表取締役 小山良夫 電話 0594-21-3641	三交旅行株式会社 取締役社長 森口明好
学校法人 皇學館 理事長 佐古一洸	新生サポート株式会社 代表取締役 清本健一郎
御在所 GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ 取締役社長 池田信政	 響いてこそ技術 シンフォニアテクノロジー 取締役 伊勢製作所長 古谷浩三 (旧)神鋼電機より社名変更致しました)

 SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 理事長 高 木 純 一 学 長 作 野 史 朗	TOSHIBA Leading Innovation >>> 株式会社 東芝 セミコンダクター社 四日市工場 工場長 佐藤 浩司 TEL 059-330-1001
学校法人 享栄学園 鈴 鹿 国 際 大 学 学長 中 野 潤 三	東邦液化ガス株式会社三重支店 支店長 寺 本 勝 治
株式会社 ZTV 取締役社長 田 村 憲 司	湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 藤 井 俊 彰
セキュリティーコスト削減 お任せください (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加 藤 智	中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 克 治
助成金・就業規則承ります。 総合経営労務センター 田中克己特定社会保険労務士事務所 TEL:059-222-1198 FAX:059-222-2918	日本トランスシティ株式会社 代表取締役社長 小 林 長 久
スポーツを通して全ての人に笑顔を提供します  株式会社 ソル・プランニング 社会的企業 (ソーシャルエンタープライズ) 代表取締役 倉田 弘明 http://www.sol-planning.com/ 	プ ラ ザ 洞 津 支配人 大 藪 康 雄 TEL059-227-3291
 株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 大 脇 久 生	マツオカ建機株式会社 代表取締役 松 岡 美江子 TEL:059-365-8271
有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ 代表取締役 吉 井 清 二	有限会社 松田産業 代表取締役 松 田 一 夫 TEL:059-256-8775 FAX:059-256-5337

 専務取締役 支配人 松田 卓弥 TEL: 059-256-5321 FAX: 059-256-4875	セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造しお届けしています。  美和ロック株式会社
三重いすゞ自動車株式会社 取締役社長 山谷 行雄 TEL: 059-227-8111	地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業 株式会社 メイハン 代表取締役 田畑 博
〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カンツリークラブ 取締役社長 山家 均	 株式会社 安永 代表取締役社長 高崎 征輝
三重県観光開発株式会社 取締役社長 小林 哲也 専務取締役 岡橋 宣孝	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山口商会 代表取締役社長 山口 久彦
がんばる企業を応援します！  三重県信用保証協会 ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/	トップレベルの環境貢献企業を目指す 横浜ゴム株式会社 三重工場 理事・工場長 持永 義登 TEL: 0596-28-3151 
三重交通株式会社 取締役社長 森口 明好	 ワールド工業株式会社 三重支店 支店長 横矢 和則 電話 0595-21-9669
三重交通商事株式会社 取締役社長 宮本 隆生	三重県経営者協会 職員 一同
地域に根ざし世界に誇れる 国立大学法人 三重大学 学長 内田 淳正	

三重県内の最低賃金

三重県最低賃金

時間額 **714** 円（平成22年10月22日発効）

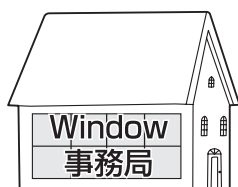
「三重県最低賃金」は、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。臨時・パート・アルバイトなど雇用形態や年齢を問いません。

なお、特定の産業に該当する事業場で働く労働者には、下表の「特定（産業別）最低賃金」が適用されます。ただし、次の労働者は、「三重県最低賃金」が適用されます。

- ①18歳未満又は65歳以上の者
 - ②雇入れ後3月未満（「ガラス・同製品製造業」及び「電線・ケーブル製造業」は6月未満）の者であつて、技能習得中のもの
 - ③主として清掃又は片付け等軽易業務に従事する者
- また、派遣労働者については、派遣先の地域別又は特定（産業別）最低賃金が適用されます。

特定（産業別）最低賃金			効力発生日
三重県紡績業最低賃金	時間額	711円	平成16年1月18日 ※平成22年10月22日からは、三重県最低賃金が適用されるため、時間額714円となっています。
三重県ガラス・同製品製造業最低賃金	時間額	776円	平成23年1月8日
三重県銑鉄鋳物、可鍛鋳鉄、鋳鉄管製造業最低賃金	日 額	5,907円	平成10年12月15日
	時間額	739円	
三重県電線・ケーブル製造業最低賃金	時間額	796円	平成23年1月8日
三重県洋食器・刃物・手道具・金物類製造業最低賃金	時間額	793円	平成23年1月8日
三重県一般機械器具製造業最低賃金	時間額	762円	平成15年12月15日
三重県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	時間額	781円	平成23年1月8日
三重県建設機械・鉱山機械製造業、自動車・同附属品製造業、船舶製造・修理業、船用機関製造業、産業用運搬車両・同部分品・附属品製造業、その他の輸送用機械器具製造業最低賃金	時間額	818円	平成23年1月8日

詳細については、三重労働局賃金室（TEL059-226-2108）又は最寄の労働基準監督署へお尋ねください。
三重労働局ホームページ（<http://www.mie.plb.go.jp/>）にも掲載しています。



新会員の紹介

株式会社オオコーチ

事業内容 木材・木製品 製造業
 代表者 代表取締役 黄瀬 稔
 所在地 松阪市大黒田町472
 電話 0598-26-1551
 F A X 0598-21-2676



ホームページ <http://ookochi.co.jp>

株式会社さわやか（さわやか不動産）

事業内容 不動産業（住宅用、商業用の土地の仲介、賃貸物件の仲介業務）
 代表者 代表取締役 前田 朝子
 所在地 松阪市田村町485-1
 電話 0598-23-8871
 F A X 0598-26-2068



新規会員のご紹介をお願いします

三重県経営者協会は（社）日本経済団体連合会の地方組織として、県内企業の発展と地域社会に貢献し、グローバルな時代に対応した会員へのサービスの向上をおこなっております。



今年度も当協会の一層の発展のために、組織の拡大を目指しておりますので、ご入会いただける企業等のご紹介を会員皆様をお願いいたします。

ご一報いただけましたら速やかに訪問し、ご説明をさせていただきます。

担当：事務局長 西場 康弘
 電話（059-228-3557・3679）
 E-mail info@miekeikyo.jp

れんらく・つうしん

2月労務管理改善協力委員会第2部会

- ◆日程 平成23年2月7日(月) 13:30～16:30
 - ◆開催場所 プラザ洞津2階 明日香
 - ◆内容
 - 第1部「最近の雇用情勢と労働法について」
 講師：部長兼首席研究員 大地 勉 氏
 (株)百五経済研究所経営コンサルティング部
 - 第2部「高齢法について」
 ～高齢者の有期契約の定め方の注意事項等～
 講師：特定社会保険労務士 田中 克己 氏
- ※今回は、「70歳まで働ける企業」創出事業と合同開催です。

2011年 春季労使交渉セミナー

～今後の経営戦略、あるべき姿を模索する～

- ◆日程 平成23年2月22日(火) 14:00～17:00
- ◆開催場所 プラザ洞津3階 紅葉
- ◆内容
 - ◎『2011年 労使交渉に臨む連合（三重）の基本姿勢』
 日本労働組合総連合会三重県連合会会長 土森 弘和 氏
 - ◎『2011年 労使交渉対応の考え方と具体策』
 (社)日本経済団体連合会労働政策本部主幹 新田 秀司 氏

◎質疑応答

- ◆参加会費 会員1名は無料。
 2名目以降は1名につき3,000円
 非会員1名につき15,000円
- ◆定員 40名

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

無料

出向・移籍の成立

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

(財)産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
(2010.10.12)

事業名	とき	ところ	
第2回好事例集検討委員会（一般事業主行動計画策定等支援事業）	10.5(火)	プラザ洞津	
行動計画策定セミナー＆個別相談会（一般事業主行動計画策定等支援事業）	10.15(金)	プラザ洞津	
第1回女性懇話会	10.19(火)	三重県立美術館	
再就職支援セミナー＆新分野チャレンジ交流会（三重労使雇用支援機構）	10.21(木)	四日市農協会館	
70歳まで働ける企業創出事業セミナー	10.29(金)	プラザ洞津	
第12回会員親睦コンペ	11.2(火)	三重カンツリークラブ	
労務管理改善協力委員会11月第1部会	11.5(金)	(株)中勢ゴム	
第13回中部社内報研究集会	11.10(水)	名古屋国際会議場	
良縁親の会 三重	11.11(木)	プラザ洞津	
戦略的営業PDCAセミナー	11.11(木)	プラザ洞津	
インターンシップ事後研修会	11.13(土)	津都ホテル	
日本経団連 地方別経済団体連絡協議会	11.16(火)	日本経団連会館	
労務管理改善協力委員会共通部会・女性懇話会	11.19(金)	(株)安永	
年末調整実務セミナー	11.19(金)	ベルセ島崎	
再就職支援セミナー＆新分野チャレンジ交流会（三重労使雇用支援機構）	11.22(月)	ハートプラザみその	
70歳まで働ける企業創出事業セミナー	11.26(金)	四日市市文化会館	
第49回MVL運営委員会	11.29(月)	プラザ洞津	
緊急円高対策セミナー及び個別融資・貸付説明相談会	12.7(火)	プラザ洞津	

経
協
関
係



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

平成23年1月12日 発行
発行人／三重県経営者協会